

鹿児島県侵略的外来種カルテ

平成29年3月

ペットとして飼われていた個体や縁日などで売れ残った幼体が大量に捨てられて野生化しました。鹿児島県では緊急防除種に指定され、県本土各地、種子島、屋久島、奄美群島で確認されています。水生植物への影響や在来カメ類の駆逐などの影響があります。縁日やホームセンターなどでもミドリガメとして売られていますが、寿命が40年もあります。最後まで責任を持って飼い続けることができるか、慎重に考えましょう。

1 基本情報

分類

目・科名	カメ目ヌマガメ科	
種名(亜種名)	ミシシippアカミミガメ	
学名	<i>Trachemys scripta elegans</i>	
環境省カテゴリー	緊急対策外来種	
県カテゴリー	緊急防除種	
由来	国外由来外来種	
侵略的外来種番付表	関脇(本土)	
番付表掲載の理由	知名度の高い外来種	
その他カテゴリー (日本生態学会ワースト100/IUCN 世界の侵略的外来種ワースト100)	世界の侵略的外来種ワースト100 日本の侵略的外来種ワースト100	
侵入・定着の状況		
自然分布域	北米大陸	
県内初報告	不明	
県内への侵入の経緯	ペットとして飼われていた個体の遺棄。縁日などで売れ残った幼体の大量遺棄	
県内の侵入分布	県本土各地、種子島、屋久島、奄美群島	
全国の侵入分布	ほぼ日本全国。島嶼でも、ほとんどの主要な有人島に分布	
生態学的特性		
生態	食性は、雑食性で、水生昆虫、ザリガニ、エビ、貝類、魚類、藻類や水草などさまざまなものを食べる。 昼行性で日光浴を好む。他のカメ類の卵も食べる習性がある。	
形態	甲長は20～28cm。メスの方が大型になる。背甲は緑褐色で、各甲板には黄色、黒、緑色などの模様が入る。側頭部には赤い斑紋が入る。	
繁殖形態	交尾は春と秋。産卵は4月から7月。孵化までの日数は65～75日程度。1度の産卵数は2～25個。 オスは伸長した爪をメスの前で震わせて求愛する。メスは地面に巣穴を掘り、卵形の卵を産出する。	
生息環境	多様な水域。底質が柔らかく、水生植物が繁茂する、日光浴に適した陸場の多い穏やかな流れを特に好む。塩分への抵抗力も高く、しばしば汽水域でも見られる。寒冷地や山地を除く、国内のほぼ全域で越冬、繁殖可能。	
特記事項	—	

2 影響	
被害の実態・おそれ ①生態系にかかる被害 ②農林水産業への被害 ③人の生命身体への被害	①餌となる水生昆虫、ザリガニ、エビ、貝類、魚類、藻類や水草などへの影響、在来カメ類の駆逐。
県内で特に予想される被害	餌となる水生昆虫、ザリガニ、エビ、貝類、魚類、藻類や水草などへの影響、在来カメ類の駆逐。
被害をもたらしている要因 ①生物学的要因 ②社会的要因	①在来カメ類の駆逐。 ②1975年に、本亜種からいわゆるサルモネラ菌が発見されマスコミで報じられたため、膨大な数が川や池に遺棄された。
3 対策	
ミシシippアカミガメとの関わり方	各地で捨てられて野生化しています。縁日やホームセンターなどでもミドリガメとして売られていますが、寿命が40年もあります。最後まで責任を持って飼い続けることができるか、慎重に考えましょう。
見分け方	ミシシippアカミガメの側頭部には、赤い斑紋が入る。類似種のクサガメには、頭部と側頭部に黒い縁取りのある黄色い断続的なストライプや斑紋がある。また、ニホンイシガメの背甲は扁平で後縁はギザギザになっている。 側頭部の赤い斑紋が最も有効な見分け方である。
見かけやすい場所・時間	晴天時の昼間、川や池の水際で日光浴をしているのが目につく。
防除方法	水域に広く分散して生息するため、効率よく駆除することは困難であるが、以下のトラップで捕獲できる。 ①カニカゴ（最も使いやすい） ②張網（水温が低い時期にも有効） ③遮光型カゴ網（数日間おいておくことが可能） ④日光浴ワナ（週1回程度の見回りで可能） ⑤手どり
防除の取組事例	神戸市の須磨海浜水族園で、野外で捕獲された個体や、飼えなくなった個体の受け入れを行い、「亀楽園」という施設で飼育・研究を行っている。
その他	アカミガメは、生態系などへ被害を及ぼすことが懸念されることから、平成17年の外来生物法の施行に合わせて法律に基づく特定外来生物への指定が検討されたが、「野外での繁殖確認事例が少ないこと」、「大量に飼育されており、指定により野外への大量遺棄が発生するおそれがあること」などの理由から指定が見送られた。しかし、平成27年には、大量に捨てられることなどの影響が出ないような対策を実施した上で、段階的な法規制の導入を行うことなどを検討している。
参考資料・参考URL	国立研究開発法人国立環境研究所 侵入生物データベース https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/30050.html 内山ほか(2002)日本の両生爬虫類. 平凡社. 東京 Nature of Kagoshima 鹿児島県自然環境保全協会 http://www.kagoshima-nature.org/category/back-number/ 神戸市立須磨海浜水族園 http://sumasui.jp/ 環境省「アカミガメ対策推進プロジェクト」の公表について http://www.env.go.jp/press/101292.html 佐藤方博(2012)要注意外来生物による生態系・農業被害防止のためのアカミガメ防除のすすめ方. 認定NPO法人生態工房